

# 令和5年シラス曳網調査結果 (第10報)

令和5年9月8日  
福島県水産海洋研究センター

## 1 調査日

9月6日

## 2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-05E(水深 33m)  
141-10E(水深 38m)、141-15E(水深 54m)

## 3 調査手法

中層トロール網(魚捕部の目合い 1mm)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 10 分間曳網 (船速 約 2kt)

## 4 調査結果

### (1)表面水温(図 1)

26.1°C~27.5°C

### (2)シラス採捕数(図 1)

1 定点あたり 34~117 尾 (合計 365 尾)

今回のシラス採捕数は前回調査時(8月31日、52~282尾、合計471尾)と比較し、減少しました。

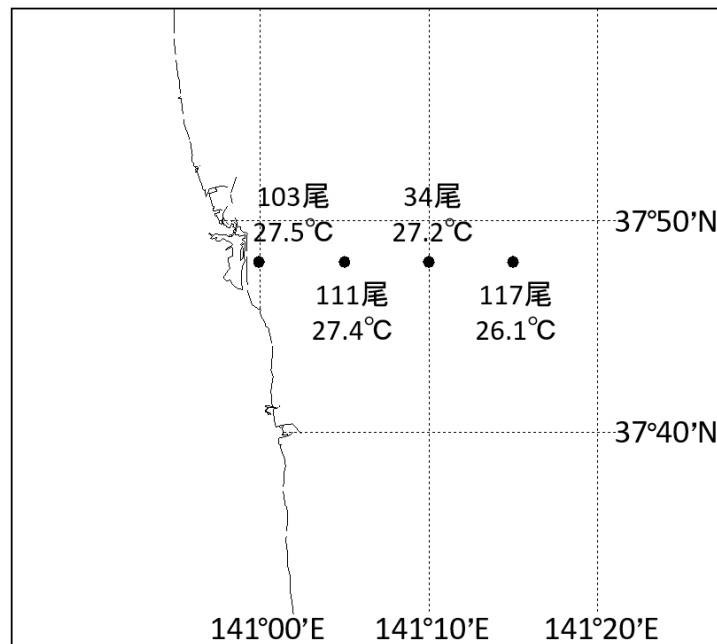


図1 カタクチイワシシラス採捕数

(3)シラス全長(図2)

全長範囲：3.9～26.1mm(モード：12.0～14.0mm)

10mm 前後の群、15mm 前後の群、20mm 前後の群の3つの群で構成されていました。

141-00E では10mm 前後、15mm 前後、20mm 前後の3つの群のシラスで構成されていました。141-05E は15mm 前後の群、141-10E は10mm 前後の群、141-15E は5mm 前後、10mm 前後の2つの群のシラスで構成されていました。

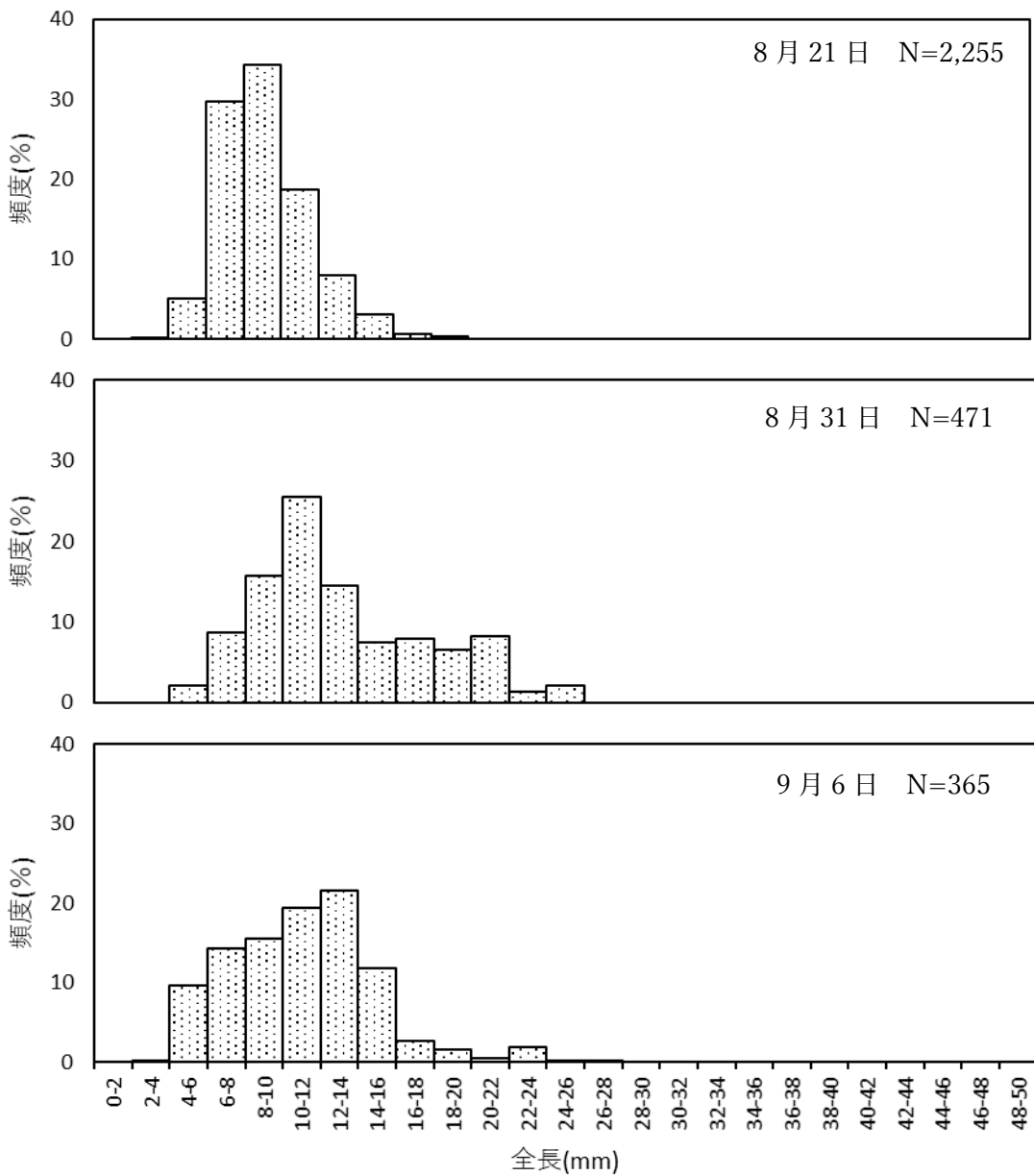


図2 カタクチイワシシラスの全長組成

(4)過去の調査結果との比較(図3)

令和5年9月のシラス採捕数は平成18年以降で3番目に多い結果となりました(図3(a))。なお、福島県の年別シラス漁獲量を(図3(b))に示します。

今後、本調査でのシラス採捕数、シラス漁獲量の動向を注視し、両者の関係について解析を行っていきます。

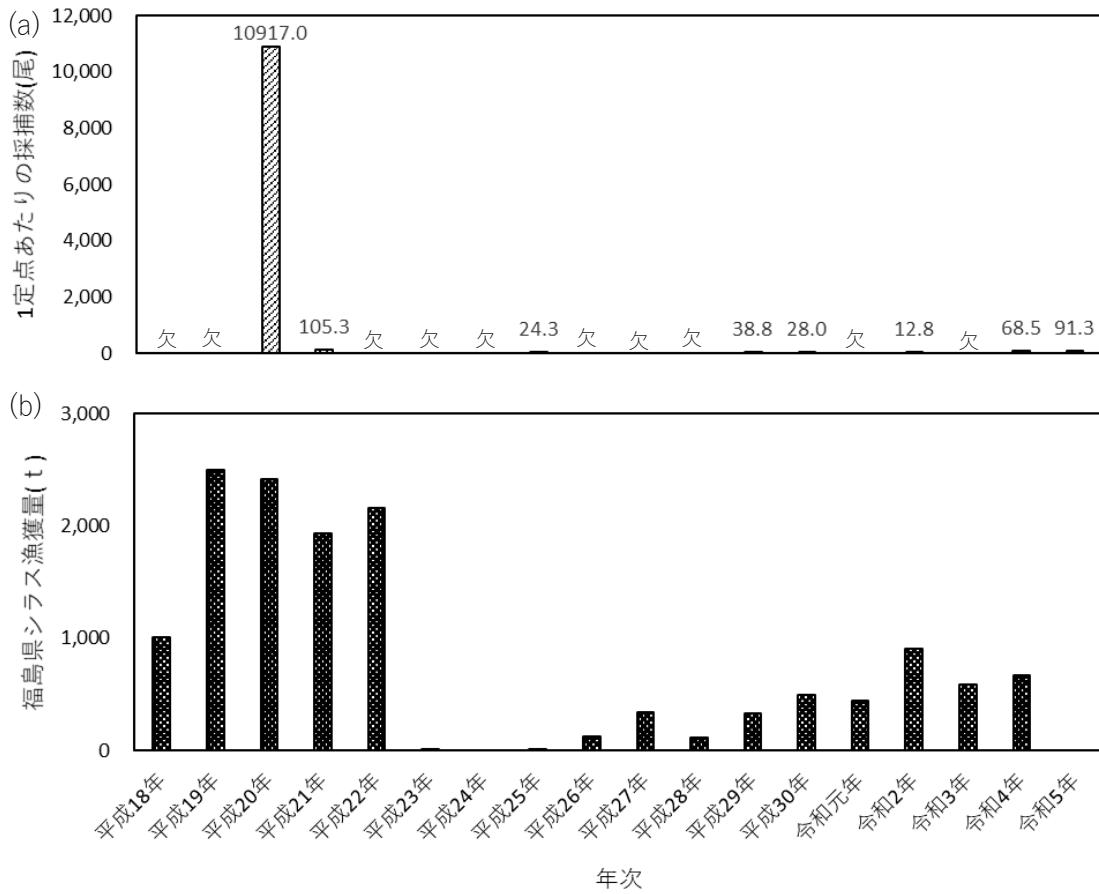


図3 (a)相馬海域における9月の1定点あたりの採捕数  
(b)福島県の年別シラス漁獲量